

Craftsman **04** FILE

北屋を支える 職人名鑑

伊藤博文 棟梁



18歳で志し、大工歴50年

○18歳でこの世界に入りました。最初はひたすら修業の日々。「目で盗め、体で覚えろ」と言われながらすごされました。同級生には中学卒業後すぐに大工となった人もいて、追いつくのに必死。20歳で年明け(大工の世界では「一人前」の意)し、弟子を付けて仕事を始めました。

○当時は全て手仕上げ。杉の一枚板を鉋(かんな)で仕上げるなど、すべて自分で行いました。棟上げでは地区の組合の人達を巻き込んで朝からお祭り状態…そういう時代でしたね。

○その後、店舗屋の仕事も10年経験。岡山では天満屋関連ほぼ全ての新築店で、家具の仕事を行いました。北屋建設さんの初めての仕事は36年前、クリーニング店の改装でした。

○ここまで続けているのは、やはり大工の仕事が好きだからでしょうね。きれいに出来上がり、喜んでくれるお客様の顔を見ると心から嬉しく思います。

EDITOR'S VOICE

家を見て喜ぶお施主様との会話が楽しいと笑う伊藤棟梁は、北屋建設にとっても頼もしい職人の一人です。

関わった家屋は新築で100件を超え、増改築やリフォームを併せるとその倍以上。その経験から、2017年7月から北友会の会長に任命されました。

北友会 [合言葉:小さくても一流]

北屋建設を支え、協力してくださる方々の総称。施工技術の向上を図り、共に発展することを目指しています。